

明治大学大学院教養デザイン研究科

映像資料活用による学際的アプローチの醸成プログラム

北川アイ子さんの生活の記録

北海道で暮らすサハリンの 先住民ウィルタの文化伝承

日本の北はカラフル

ウィルタはサハリン島（旧樺太）の少数民族で、わずか数百人のとても小さな集団ですが、独自の言語文化を持つ人々です。

日本が南樺太を日本領とした時代、ウィルタを含むその地の先住民族たちは、日本国籍をもち、日本語を学び、日本国の教育を受けました。

日本の敗戦後、かれらの一部は北海道・網走市などに移住しました。

北海道立北方民族博物館（網走）撮影・編集の映像で、網走にジャッカドフニ（大切なものを収める家）という名のウィルタ文化伝承のための博物館をつくったウィルタ女性・北川アイ子さんのライフヒストリーを紹介します。

コーディネーター：中村和恵 法学部教授

開催日程：10月13日（火）15：30～

Zoomによる講演・北海道立北方民族博物館撮影の映像上映

講師：笹倉いる美氏 北海道立北方民族博物館学芸主幹

※本学関係者・学生向けに公開。参加希望の方は、10月12日（月）までに、humanity@mics.meiji.ac.jpにメールで参加申し込みをしてください。その際
①氏名、②所属、③学生の場合は学籍番号、教職員の場合は肩書きを記載ください。
当日のZoomミーティングID・パスワードをご連絡します。